

# 2019年度 短期海外研修報告書

@マレーシア工科大学&シンガポール経営大学

# Table of contents

P03 Preface

P04 Course Information

P06 Program Calendar

P09 UTM/SMU

P13 Malaysia Diary

P27 Singapore Diary

P37 Member Introduction

P41 Buddy Introduction

P44 Closing Words



HITOTSUBASHI UNIVERSITY

# Preface

## 研修担当教員より

2019年度で3回目を迎える短期海外研修(シンガポール経営大学・マレーシア工科大学)には、17名の学生が参加しました。過去2回の研修参加学生のフィードバックから、マレーシアでの研修(2週間)は、マレーシア工科大学の学生バディとの交流を通じたプロジェクト型の内容となり、シンガポールでの研修(1週間)は、シンガポール経営大学の学生との交流も取り入れながら、フィールドワークや企業訪問を通じて、「海外で暮らすこと、働くこと」をより実感できるプログラム内容となりました。現地での研修以外にも、11月から1月までの渡航前オリエンテーションの授業、帰国後の振り返りと報告書の作成、の3つの流れを授業の柱とし、現地関係者とも調整しながらスケジュールや内容を組み込みました。

このような事前の調整にもかかわらず、2月中旬から始まった現地での研修は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けました。ちょうどその頃、シンガポール、マレーシアを含む東南アジアにおける新型コロナウイルスの拡大が懸念されはじめました。そのため、マレーシアにおける小学校訪問など予定されていた訪問プログラムの一部が直前に中止となりました。幸いにも、マレーシア工科大学の関係者の方々が、代替プログラムを用意し、本学の学生と現地学生のバディが交流をもてるような様々なオプションを提供してくれました。また、シンガポールにおいても、対面授業からオンライン授業への参加に変更、シンガポール経営大学の学生団体との交流会の中止など、直前にプログラム内容の変更を余儀なくされました。このようにプログラムの直前の変更はあったものの、学生たちは3週間の研修期間を思いっきり満喫していたのがこの報告書からもうかがえます。

帰国後は、日本からの海外渡航がより制限される状況となり、本学も春・夏学期はオンライン授業への全面移行が発表され、緊急事態宣言の発令により、自宅待機を余儀なくされています。このような状況になったからこそ、シンガポールとマレーシアで現地のバディや仲間と過ごした3週間は、今後の人生やキャリアを考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

本研修では、シンガポールとマレーシアの現地関係者が学生の健康と安全を第一に考えながら、プログラムの実施に協力くださり、学生達は体調不良になることもなく無事帰国しました。国内の新型コロナウイルス感染拡大を懸念して、帰国直後に予定していた研修振り返り会は中止となりましたが、それ以外は問題なく研修を実施することができました。本研修の企画・実施にあたり、学生を受け入れてくださった現地の大学関係者と企業関係者の皆様、本研修を支えてくださったCIEEの皆様、本学の関係者の皆様に心よりお礼を申し上げます。

2020年5月

秋庭 裕子

田口 陽子

# Course Information

Schedule【曜日時限】 冬学期 水曜 4 限

Instructors【教員】 秋庭 裕子 田口 陽子

## Course Outline【授業概要】& Attainment Target【授業科目の到達目標】

冬学期中の事前オリエンテーションを経て、休業期間中に3週間(2月中旬～3月上旬)、シンガポールとマレーシアにおいて2種類のフィールドワーク型プログラムに参加し、グローバル社会におけるコミュニケーション能力を習得し、海外で実力を発揮できる自信を育む。第1・2週は、マレーシアにおいて、マレーシアまたは周辺地域の企業の訪問と講義を通じて、アジアでのグローバル・ビジネスについて考察する。

第3週はシンガポールに移動し、フィールドワークや現地学生との交流を通じて、学びを深める。シンガポールでは、シンガポール経営大学が募集した学生たちの協力のもと研修を実施し、また、現地の如水会支部とも交流を深める予定である。

## Grading Criteria【成績評価の方法】

オリエンテーションプログラムへの参加とクラス運営(役割)への貢献度(30%)、派遣先でのパフォーマンス評価(30%)、体験記の完成(40%)により総合評価する。

A+:96-100 A:90-95 B:80-89 C:70-79 D:60-69 Schedule

## 【授業計画】

9/18 研修概要説明会

9/25 研修概要説明会(第2回)

10/18 参加希望申し込み 提出期限 (提出先:学務部第5係)

10/18 以降 参加予定者への連絡(担当教員よりメールにて)必要に応じて面接あり

11/6 渡航前オリエンテーション 1 キックオフ、概要説明、旅行手続き

11/13 渡航前オリエンテーション 2 マレーシア(ジョホール)、シンガポールの文化

11/20 渡航前オリエンテーション 3 ゲストスピーカー(シンガポール大使館)

11/27 渡航前オリエンテーション 4 現地でのプロジェクトの準備I+異文化コミュニケーション

12/4 渡航前オリエンテーション 5 異文化コミュニケーション

12/11 渡航前オリエンテーション 6 現地でのプロジェクトの準備II

12/18 全学危機管理オリエンテーション(13:15~14:45)

2020/ 1/8 渡航前オリエンテーション 7 最終確認打ち合わせ

\* 1月8日の最終オリエンテーションから、渡航前までに直前オリエンテーションを実施する可能性あり。

2月中旬から3月上旬 短期海外研修期間(3週間) 予定 日本発着日含む

3月 プログラムの振り返り会(日程要調整) ※COVID-19感染拡大のため中止

4月下旬 学内留学フェアでのプロモーション ※同上

3~7月 体験記作成(スケジュールは別紙参照)





# Program Calendar

DAY	ACTIVITIES
12/2/2020, Wed	<p><b>6am: Group Airport Pick Up, Changi Airport/ Senai Airport, buddies holding a Sign: SS14</b></p> <p><b>9am: Arrival to UTM Skudai campus and check in to Scholars Inn</b></p> <p>10am -2pm : Checked-in, Free &amp; Easy Lunch in Scholars Inn</p> <p>2pm : Course briefing and ice breaking (UTM New Library)</p> <p>3pm : <b>Campus tour - UTM Sustainable campus</b></p> <p>5pm: Back to UTM Scholar Inn/Free &amp; Easy</p>
13/2/2020, Thu	<p><b>Visit 1: Malay Cultural Village and Johor Bahru City Tour</b></p> <p>9:30am: Departure from UTM Scholars Inn</p> <p>10am: Visit 1 Malay Cultural Village</p> <p>12:00pm: Lunch</p> <p>2pm: Johor Bahru City Tour</p> <p>5-7:30pm: Free and Easy in Johor Bahru</p>
14/2/2020, Fri	<p><b>SPECIAL PROGRAM: HOMESTAY @ LAYANG-LAYANG VILLAGE</b></p> <p>2pm: Leaving for Layang-layang Village</p> <p>3pm: Arrival At Layang-Layang Village</p> <p>3-7:30pm: Experience Local Culture In Host Family</p> <p>7:30-9:30pm: Dinner &amp; Multi Cultural Night</p> <p>10pm: Overnight At Host Family (3 International Students + 1 UTM Student Stay In 1 Host Family home)</p>
15/2/2020, Sat	<p><b>Visit 2: Community Composting site at Layang-layang, Johor</b></p> <p>10am: Briefing &amp; Demo of Composting at Mini RTC (Rural Transformation Centre) Biocompost Plant, Layang-Layang, Johor.</p> <p>12pm : Lunch*(provided) at Mini RTC Bio-Compost Plant</p> <p>2pm : Departure</p> <p>5pm : Drop-off at AEON Taman U/Free &amp; Easy or UTM Scholars Inn</p>
16/2/2020, Sun	<p>8:30am: Departure from UTM Scholars Inn</p> <p><b>9am – 12pm: Talk 1: Low Carbon Economy in Iskandar Malaysia, Prof Ho Chin Siong</b></p> <p>Venue : School of Chemical and Energy Engineering (SKT)</p> <p>12pm: Lunch*(provided)</p> <p><b>Visit 3: Iskandar Regional Development Authority (IRDA)</b></p> <p>1.30pm : Departure from SKT</p> <p>2.15 – 3:30pm: <b>Talk 2: Low-Carbon Blueprint by in Iskandar Region Development Authority (IRDA).</b></p> <p>6 -7:30pm: Free and Easy Dinner at Medini (Legoland) Mall</p> <p>7:30pm : Departure to UTM Scholars Inn</p>

<b>17/2/2020, Mon</b>	<b>9am – 12pm: Talk 3: Sustainable Consumption and Production (SCP), Prof. Dr. Lee Chew Tin</b> Venue : School of Chemical and Energy Engineering (SKT) 12:30pm Lunch*(provided) <b>2pm: Visit 5: Desaru Beach &amp; Fruit Farm</b>
<b>18/2/2020, Tue</b>	<b>9am – 12pm: Talk 4: Student Mobility and Employability in Southeast Asia, Dr. Doria Abdullah</b> Venue: UTM new Library 12pm: Lunch *(provided) 2pm: Team Assignment Preparation
<b>19/2/2020, Wed</b>	<b>10-11am</b> <b>Talk 5: How to prepare a good presentation? Prof. Lee Chew Tin</b> <b>Afternoon: Independent Study</b>
<b>20/2/2020, Thu</b>	<b>Data Collection &amp; Team Assignment Preparation</b>
<b>21/2/2020, Fri</b>	<b>Visit 7: HISTORICAL CITY OF MALACCA</b> 8am: Departure to Malacca 10:30am: Arrival at Malacca Old Town Free & Easy guided by UTM local buddies 7pm: Departure back to UTM Scholars Inn 9:30pm Arrival at UTM Scholars Inn
<b>22/2/2020, Sat</b>	2pm: Preparation for Group Presentation 5pm: Return to UTM Scholars Inn
<b>23/2/2020, Sun</b>	<b>9am – 12 pm: Team Presentation and Closing Ceremony, Seminar Room, FKT</b> 12pm: Lunch*(provided) and Free & Easy <b>7:15pm: Farewell Dinner* (Provided), Gift Exchange, UTM Café</b> 9:30pm: Back to UTM Scholar Inn
<b>24/2/2020, Mon</b>	Free and easy
<b>25/2/2020, Tue</b>	7.30am: Checkout and Departure to Singapore trip <b>10:30am: Arrival at Marina Barrage Visitor Centre at Marina Bay, Singapore</b> 12pm: Free & Easy Lunch 2pm: UTM Bus departure to Singapore hotel for Check in 3pm: UTM Bus Return to Johor

<b>26/2/2020, Wed</b>	<p><b>9:00am: Meet at Starbucks in Manulife Center (about 30 minutes from Ark Hostel)</b> 51 Bras Basah Rd, #01-02B MANULIFE CENTRE, Singapore 189554 <b>Preparation for FW at SMU</b></p> <p>12:45pm: Meet at <b>Media Japan (Business casual required)</b> 4 Leng Kee Road #04-12 SiS Building Singapore 159088 1:00 pm~3:00pm Media Japan</p>
<b>27/2/2020, Thu</b>	<p>9:30am: Meet at <b>ABC Cooking Studio (Funan) (Business casual required)</b> 107 North Bridge Road #02-29, Funan, Singapore 179105 By MRT Subway: Alight at City Hall MRT station (EW13/NS25), take Exit B and walk to Funan Mall, then take the escalator/lift to level 2 9:45am: temperature screening 10:00am~12:00pm: ABC Cooking Studio</p>
<b>28/2/2020, Fri</b>	<p>9:45am Meet at the lobby, <b>Shanri-la Hotel (Business casual required, bring your mask)</b> 22 Orange Grove Rd, Singapore 258350 10:00am~12:00pm Shangri-La Hotel</p>
<b>29/2/2020, Sat</b>	Free & Easy
<b>1/3/2020, Sun</b>	Free & Easy
<b>2/3/2020, Mon</b>	<p><b>AM: Fieldwork</b></p> <p>1:50pm Meet at <b>Singapore City Gallery (Bring your mask)</b> On-site registration for health screening 2:00pm private tour 3:30pm Brief session with Colin Law from Deputy Director Strategic Communications &amp; Outreach Department , Urban Redevelopment Authority</p>
<b>3/3/2020, Tue</b>	<p><b>10:50am: Meet at the hostel lobby (Bring your own laptop )</b> <b>11:00 am trial for online class (Webex)</b> <b>12:00pm ~1:30pm Introductory Japanese Class at SMU</b></p>
<b>4/3/2020, Wed</b>	<p><b>AM: Preparation for group presentations</b></p> <p><b>1:45pm Meet at the SMU Library entrance (Bring your mask)</b> <b>On-site registration for health screening</b> <b><a href="https://www.smu.edu.sg/campus-life/visiting-smu/campus-map">https://www.smu.edu.sg/campus-life/visiting-smu/campus-map</a></b> <b>2:00pm~5:00pm FW Presentation @Learning Lab 1 in SMU library</b></p>
<b>5/3/2020. Thu</b>	<p><b>AM: Check out</b> <b>PM: Departure to Japan</b> <b>Welcome back home!</b></p>



# UTM/SMU

University of Technology Malaysia (マレーシア工科大学)



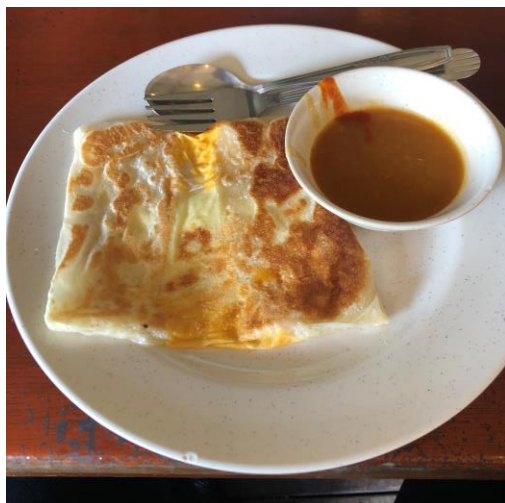
マレーシア工科大学(UTM)は、マレーシア第二の都市ジョホールバルに位置する国立大学です。ジョホールバルはシンガポールと非常に近く、ジョホール海峡を挟んだ対岸にシンガポールがあるため、相互往来が盛んで便利です。マレーシア工科大学(UTM)はマレーシアで最も古い国立理工系大学で、1902年に前身となる大学が設立されました。そして、マレーシアにおける工学系人材の3分の2を輩出している国立の研究重点大学となっています。また、2011年にはクアラランプールキャンパス内にマレーシア日本国際工科院(MJIT)が設立され、そこでは日本とマレーシアの交流が積極的に行われています。さらに、UTMは非常に国際色豊かな学校であり、実に120か国以上から5,000人を超える留学生がUTMに学びに来ています。

UTMの特徴として他に挙げられるのは、キャンパスの大きさです。キャンパス内には、サッカーや野球などの球技が行うことのできるスタジアムや各学部ごとの校舎と図書館、さらには釣りや乗馬ができる施設などがあります。そのキャンパスの大きさから、ほとんどのUTM学生は自分のバイクや車を使ってキャンパス内を移動しています。

# UTMの寮－Scholar's Inn

大学内を奥へと進むと、私たちが約二週間止まったScholar's Innと呼ばれる寮があります。この寮は海外から来る教授や私たちのような留学生向けに作られた比較的新しい寮です。通常の学生はキャンパス内にある別の寮で寝泊まりしています。Scholar's Innの部屋には、キッチン、リビングルーム、ベッドルームがあるほか、2、3日に一回ルームサービスが入るため、とても快適に過ごすことができます。

また、Scholar Innの一階には食堂があり、多くのマレーシア料理を味わうことができます。私は個人的にRoti Canai(ロティチャナイ、左下の写真)にはまり、朝ごはんによく食べていました。また価格面でいうと、日本と比べて物価が安いので、日本円で100～200円程度で買うことができます。一つ注意するならば、多くの食べ物が刺激の強いスパイスが使われているため、胃腸が弱い人はそのような刺激の強い食べ物を避けることをお勧めします。



# Singapore Management University (シンガポール経営大学)



シンガポール経営大学(SMU)は、ショッピングの中心地のオーチャードから電車で2駅のブラス・バサー駅と直結したシンガポールの中心地に位置する大学です。2000年に設立された新しい大学ですが、シンガポール国立大学(NUS)やナンヤン工科大学(NTU)と並ぶ、シンガポールでトップクラスの大学です。SMUは総合大学ではなく、文系のビジネス学部の特化した専門大学で、商学部(School of Business: SOB)、会計学部(School of Accounting: SOA)、経済学部(School of Economics: SOE)、法学部(School of Law: SOL)、情報システム学部(School of Information System: SOIS)、社会科学部(School of Social Science: SOSS)の6学部で構成されています。

また、SMUでは大学の卒業要件として、インターンシップを学生に課しており、充実したキャリア支援を提供しています。





# 都市に位置する大学キャンパス

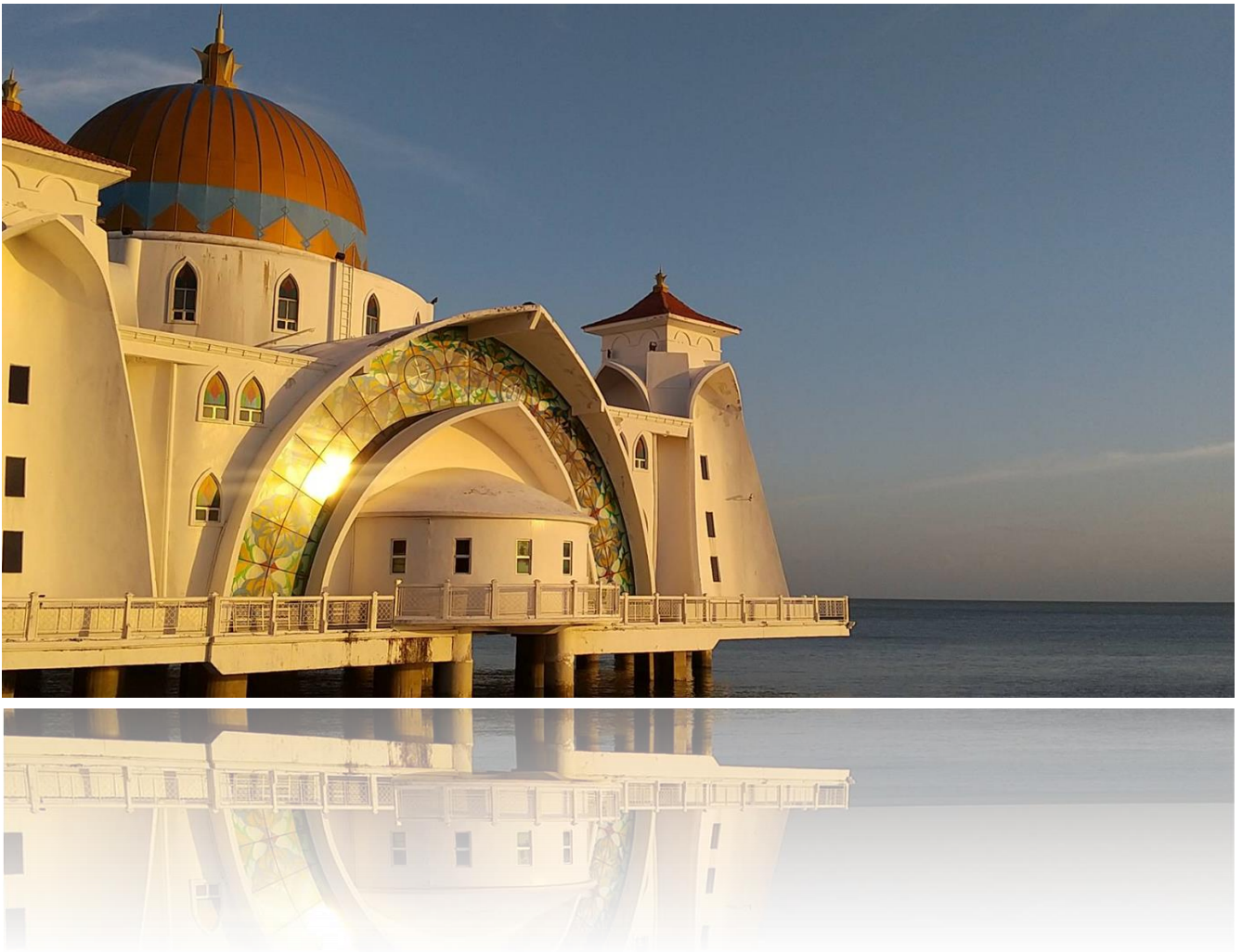
先述の通り、SMUは、ショッピングの中心地のオーチャードから電車で2駅の  
ブラス・バサー駅と直結したシンガポールの中心地に位置しており、キャンパス  
の近くには企業のオフィスやショッピングモール、博物館があります。キャンパス  
の外装は近未来的なおしゃれな構造となっており、キャンパス内も非常に洗練  
されたスタイルになっていました。

私たちは最終課題であるプレゼンを行うために、SMUの図書館内にある一室  
を利用しましたが、図書館はとてもきれいで、学生が使える自習室も多数設置さ  
れており、勉強する環境が充実していました。

さらに、SMUは大学の施設としてバーがあり、学生証を提示すれば安価で利  
用することができます。このように、街でよく見かけるようなバーが大学の建物の一  
角にあることに非常に驚きました。



# *Malaysia Diary*



## 2/12 Arrival

機中泊の末にシンガポールのチャンギ空港に到着し、迎えに来てくれていた2人のバディと集合。バスでの移動と2回の入国審査を経て無事UTMに着きました。お昼時だったため、さっそく私たちの宿泊する学生寮であるScholar's Innのカフェテリアにお昼ご飯を食べに行きました。覚悟はしていたつもりでしたが、予想以上のどの料理も刺激の強そうな色をしており、若干尻込み。出来るだけ平和そうな色のしているものを選んでお皿に取り食べてみると、予想通りの味のしたものは何一つなく、しかしただただ辛いというわけではなく、美味しいと感じられるものもたくさんあって、今後の食生活に希望を持ってました。

その後は、キャンパスツアーで広い広いキャンパスをバスで案内してもらいました。“I am UTM”と書いてあるオブジェや広いグラウンド、立派なモスクなど素敵なスポットがたくさんで、みんな写真を撮りながら2週間のキャンパスライフに想いを馳せているようでした。集合写真を撮るときにみんなで作った垂れ幕が、ここから2週間ずっと写真撮影のたびに登場するとは思ってもいませんでした…。

そしていよいよバディとの顔合わせへ。アイスブレイクでは、去年の研修の様子やマレーシアの習慣や文化について写真を交えて教えてくれて、わくわくが止まりませんでした。その後はみんなでゲームをして盛り上がりましたが、“the world is round”や“Think before answer”などルールの癖が強いゲームが多く、理解するのに必死でした。それでも、これからお世話になるバディとの親交をしっかりと深めることが出来ました。ゲームの罰ゲームとして、到着したその日からみんなの前で堂々と歌を歌った塩澤くんの男気には感激しました。

夜は早めにScholar's Innに戻り、夕食を摂って22:30には寝てしまいました。私たちの部屋はエアコンのつけ方が暫くわからず暑い中ではありましたが、旅の疲れもあったのか熟睡できました。





## 2/13 Malay Cultural Village and Johor Bahru City Tour

午前、Cultural Villageに行きました。入口の前でいつものように横断幕をもって全体写真を撮り、入場。ガイドの方の案内で色々な施設を見学し、体験しました。伝統的な染め物のコーナーでは職人さんのデモンストレーションを見たあと、自分たちで染める体験もしました。職人さんがあっという間に綺麗な線を描き染め絵を完成させる様子に感動しました。染め体験では赤・青・黄・緑の4色を使い、南国風の絵に色を付けました。きれいに染める技術はもちろん、色の配置やグラデーションを考える美的センスも必要でとても難しく、改めて職人さんの凄さを実感しました。Teh Terik(テ・タレ。ミルクティー)を高いところからコップに流し入れるパフォーマンス・生地を空中で回しながら薄く伸ばしてマレーシア版ナンCanai(チャナイ)を作る体験もし、マレーシアで定番の朝食と言われるRoti Canai(チャナイとカレー)とTeh Terikをいただきました。

Cultural Villageを離れ次に向かったのは、Johor Bahruの中でも大きなショッピングモールParadigm Mall。6時までご飯を食べたり買い物をしたり映画を観たりと、自由に過ごしました。日本でSIMカードを買わなかった人の中には、モールの4階で購入した人もいました。(わたしもこのときSIMカードを買いましたが、日本で準備するよりも安く手に入りました!)モールの4階にはDAISOがあります。ここでは5.9RM(165円くらい)です。日本で買うよりも高いですが、日本でビーチサンダルなどいろいろなものがあり、日本で買い忘れたものを買うのにぴったりでした!

Scholar's Inn滞在2日目、部屋にあるトイレトペーパーが足りなくなるという大問題が発生しました。1階のレセプションでは、1ロールにつき2RM(56円くらい)で買えるようです。4人部屋で1日1ロール使い切ってしまったから、トイレトペーパーに対して毎日2RM使わなければいけないのか! 2RMあればノーマルなRoti Canaiを2皿食べられるじゃないか! そこで、Paradigm Mallで安くて12日間耐えられるほどのトイレトペーパーを探すことにし、G階のスーパーマーケットで12ロール8RMくらいのトイレトペーパーを見つけました。巨大なParadigm Mallにはいくつかドラッグストアがありますがどこも売っておらず、現地の方はトイレトペーパーを使わないんだ、と再認識しました。ただ、Scholar's Innに戻った時、部屋にルームサービスが来ていてトイレトペーパーが2ロール補充されていました。Scholar's Innではルームサービスが2日に1回あり、ベッドメイキング、ティッシュボックスや新しいバスタオルや飲料水の補充をしてくれます。トイレトペーパーも毎回2ロール補充してくれます。トイレトペーパーを大量に買う必要はなかったということですね。



## 2/14 Homestay @Layang-Layang Village

午後、ホームステイ先のラヤンラヤンビレッジに向かいました。だんだんと道幅が狭くなり、道の両側には、深い椰子の森。木は整然と並んでいて、森の奥の方まで見通せるほどでした。椰子の森をぬけると小高い丘が見えてきて、そこにある集会所の前でバスを下ろされました。目の前には小さなモスクが。どうやらここは、村の人々にとって、大事な憩いの場なのだと言うことに気づき始めました。教会を取り巻いて村ができるという構図は高校の世界史で学びました。そこで僕らは大柄なおばさん達に引き取られ、それぞれのお宅に輸送されていきました。おばさんの孫が僕らを出迎えてくれました。最初はお互いに緊張していて、彼らは、子供部屋から出たり、引っ込んだりを繰り返していました。彼らがせわしなく出入りを繰り返す扉にずっと目をやっていると、驚いたことにこの子は初めて出てきたぞという子がたまに顔を出すのです。ドアの裏側に一体何人のかわいい子供達が隠れているのか把握するのに一日かかりました。熱帯の家らしく、とても開放的な家造りで、どこからともなく猫が家に入ってきて反対側から抜けていきました。猫は終始僕らにおびえていましたが、子供達との距離は縮まっていきました。日本の仮面ライダーは、正義とともに暴力も海外へ輸出しているようでした。どれだけパンチされてもかわいくて、怒ることはできませんでした。

日が暮れ涼しくなった頃、集会場で親善パーティーが行われました。僕たちは彼らにダンスを披露し、彼らは、たくさんのマレー流パーティーゲームを用意してくれていました。よくないことですが、正直僕らは彼らの熱量に圧倒されてしまいました。終わりの見えないゲームは、真夜中まで続きました。これは、高校の世界史や地理では学べなかったマレーシアでした。夜の星はとてもきれいでした。シャワーやトイレトペーパー、エアコンがなかったのは、この星空を守るためなのだと思うと、経済発展と環境保全の両立の難しさという、とても重い課題が僕の頭をよぎりました。UTMのリー教授はこういう風に、問題提起してくるのです。



## 2/15 Community Composting site at Layang-Layang, Johor

バレンタインデー翌日。昨日は何もなかったことを確認しつつホームステイ先のベットから起き上がりました。向こうでは朝シャワーが定番らしく一緒にホームステイしていた人たちも朝シャワーしていたのですが、僕自身は朝シャワー習慣がなくその時間を削りだして寝ようとするタイプなため朝すっきりせず朝ご飯を食しました。その後農園というか森というかみたいなのところに行き、持続可能な農業というものを見せてもらいました。油やしの実を取ったりいろいろ実演してもらったり体験させてもらったりと、あまり体験できないようなことをさせてもらいました。

そうこうしているうちにホストファミリーとのお別れの時を迎え、一路滞在先のUTMへ。到着後日がカンカンに照り付ける中大学内のフットサルコートでフットサルに興じました。現地学生も混ざってサッカーしたのですが、我々が多分一番暑い時間帯からサッカーしていたせいでもうへとへとみたいな、まさに熱中症を気にしたほうがいいレベルまで疲れ切ってしまったので退散しました。それまでは東南アジアの暑さというものを若干見くびっていた部分があったのですが、これ以降は「東南アジアは暑いぞ」と肝に銘じて行動するようになりました。

その後部屋に戻り夕飯を食べダラダラして布団に行きました。次の日からは本格的な講義が始まると思うと、とにかくすっきり朝を迎えようを一念発起し眠りに入りました。



←村にあったスタジアムの写真。

(特にここで何かしたわけではないですけど…)



## 2/16 Talk 1 : Low Carbon Economy in Iskandar Malaysia

### Talk 2:Low-Carbon Blueprint by IRDA

午前中は“Low Carbon Economy in Iskandar Malaysia”と題した、マレーシアにおける低炭素社会への移行に向けた動きについての講義を受けました。欧州諸国をはじめとした早期に低炭素社会の実現を目指している先進国同様、マレーシアなどASEAN諸国でもそれらに追いつこうとする取り組みがあるとのことでした。定量的な目標を持ち、将来のあるべき姿から逆算して開発のロードマップが作られていることが強調されていました。また昼食をとりながら「Forest City(森林都市)」の紹介動画を観ました。中国・華人100万人をマレーシアに移民させるプロジェクトとのことで、本来は午後に訪問が予定されていたエリアだったそうで残念でしたが、映像でも迫力が伝わってきました。

午後はイスカンダル地域開発庁(IRDA)を訪問してお話を伺い、同地域における環境にやさしい社会づくりのためのアクションプランの説明などをして頂きました。例えば建築物の建材や設備が段階的に基準を満たしたものに置き換わっていくそうです。シンガポールとの境界に位置し、交易の経由地でありつつ面積は同国の3倍にあたるもなれば魅力的な都市になりそうで、とても楽しみなお話でした。その後はイスカンダル・プテリ地区の州政府事務所の前の広場で写真を撮りました。プログラムの最後に記念品と一緒に手渡された写真がここでの一枚だったのですが、変な顔と体勢だったので個人的に悔いが残っています。また、マレーシアで初めての雨を経験したのはこの日でした。ただ行く前には「スコール大丈夫かな?」と心配していたのですが、滞在を通じて天候に大きく困ることはありませんでした。

夜はAEONに行き、各自で夕食をとりました。自分はSushi Kingという回転寿司チェーンに行きましたが、巻物中心どころかどんぶりがrecommendされていたのが印象的でした。ほぼ唯一のネタであるサーモンなど数貫と、天井を食べました。店員さんに直接オーダーしても、結局回っているお寿司を代わりにとって渡してくれるだけだったのが面白かったです。全体的なレベルには目を瞑りますが、日本を離れてから数日経ち、常に何かしら辛いものが入っているMalaysian foodを食べて過ごしてきた我々にとって、シンプルな白飯と甘いものやしょっぱいものの組み合わせはとても良い胃袋の保養になりました。



## 2/17 *Talk 3:Sustainable Consumption and Production*

### *Desaru Beach & Fruit Farm*

この日は、朝からSustainable Production and Consumptionをテーマに講義を受けました。講義では、プラスチックに頼りすぎている現代の問題点や改善点についてのお話を聞きました。また、マレーシアのみならず日本やシンガポールの現状についても教えていただきました。途中で化学式が出てきて、数字を扱う講義ですら2年間ほとんど受けてこなかった私にはなかなか酷でしたが、丁寧な説明のおかげでなんとかついていくことが出来ました。

午後には、Fruit FarmとDesaru Beachに行きました。Fruit Farmでは、お話を聞きながら自分で採いだフルーツを食べられたり搾りたてのジュースを飲めたりしてすごく楽しかったです。ジャックフルーツや異常に大きなバナナなど、日本では到底目にするのできないようなフルーツをたくさん見ることが出来ました。ジュースは説明を聞いてもそれぞれ何味かわからず、おすすめを聞いても「全部！」の一点張りだったので適当に選びました。すごく新鮮なのはわかりましたが、結局なんのジュースだったのかはわかりませんでした。マレーシアでは味の予想できない食べ物を口にする機会に多く遭遇しますが、たいていのものは美味しくて、チャレンジして後悔したものはまだ一つもないです。バディがカットフルーツの詰め合わせを1人1人に配ってくれ、改めて彼らの優しさを感じました。おかげでいろんな種類のフルーツを贅沢に味見できました！

Beachでは、足だけ海に浸かってみたり、ビーチボールをしたり、就活のためのビデオを撮ったり…？みんな思い思いにリラックスして過ごすことが出来ました。帰りがけに小さなアリに足を刺されてすごく痛い思いをしましたが、「2月に暖かいビーチにいる」という経験が出来て大きな優越感を感じました。



## 2/18 *Talk 4: Student Mobility and Employability in Southeast Asia*

今日の講義は「Student mobility and employability」でした。「mobility」を「交通」的な意味だと壮大な勘違いをしていた私は、授業がASEANや自己理解を中心に進められていったので、とても驚いてしまいました。しかし、「Quizizz」というアプリを使ったゲームや付箋を使ったアクティビティなど、インタラクティブで非常に楽しく、3時間があっという間でした。ちなみに、私は「elevator presentation」でボランティアに立候補して、30秒で自己紹介をし、クッキー感が微妙に残るのり塩ポテチのようなスナックをもらいました。おいしかったです。また、自分はASEANについての知識がまだまだ不十分で、これから日本にとってますます重要な存在になっていくであろう東南アジアのことを学ぶ必要性を再認識させられました。ほかにも、自分の特技や今後やりたいことを整理していく過程は、自分自身の再発見につながり、今後就活において大変役立ちそうだと思います。

午後は、小学校の訪問がキャンセルされてしまったので、新しい図書館で最終プレゼンのための調査をしました。私たちのグループのテーマは、取り上げるべき内容がほぼ固まっていたので、比較的スムーズに話がまとまり、役割分担もすぐに終わりましたが、調べていくと、内容が難しく、どのようなアプローチがいいのか迷いました。しかし、バディのジャズリンがトピックの内容を少し広げてもよいというアドバイスをくれたので、プレゼンの方向性を決めることができました。余談ですが、私はそこで初めてマレーシアの超絶大きいアリにかまれてしまい、しばらくかゆく、さらには全身もかゆいような気分になりました。みなさんも、気を付けてください。

その後、急遽大学のセンターにお邪魔し、開発や政策についての話を聞きました。何人かのスタッフの方に、自分のプレゼンについての質問ができたほか、お互いのたわいない話ができ非常に楽しかったです。そこで、今日ナイト・マーケットがあるから、行くといいよとアドバイスをもらったので、帰るとすぐにバディに頼んで、連れて行ってもらいました。マレーシアの屋台飯はどれもおいしかったです。奇抜な色をしたシューマイだけは、おいしいともおいしくないとも言い切れない、不思議な味がしました。突然お願いしたのに、すぐに連れて行ってくれたバディさんたちには、本当に頭があがりません…本当に感謝です。



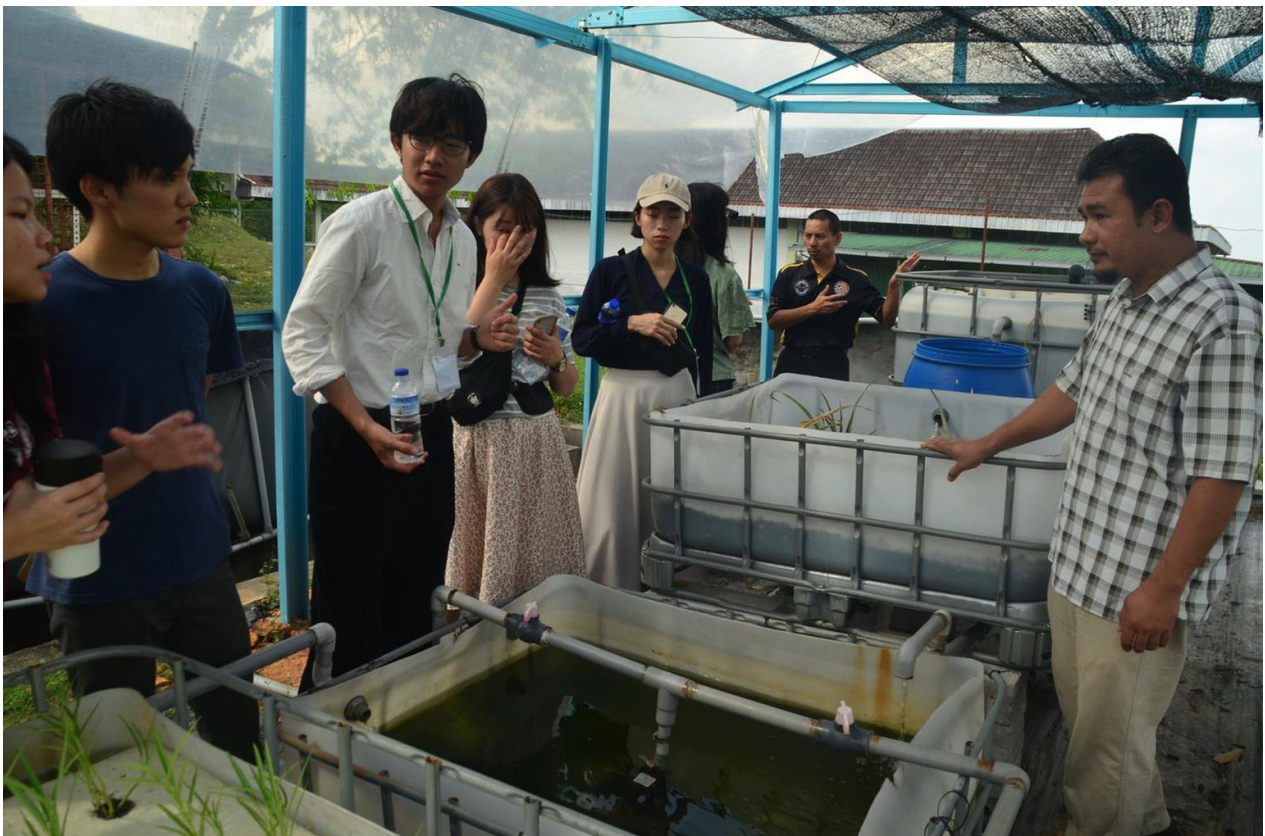


## 2/19 Talk 5 : How to prepare a good presentation?

まず、大学内のアクアポニックスを観察しました。アクアポニックスとは、魚と植物を同時に育てるもので、魚が出すフンが植物の栄養になり、植物が水中の養分を吸い上げることで水を綺麗にするというWIN-WINの関係を活かすシステムだそうです。このような施設が学内にあるのは理系の大学ならではのなと思いました。カフェテリアのご飯にも、ここでとれた魚が使われていたりするのでしょうか…。

次に、教室に戻って、リー教授から良いプレゼンテーションを作るためのレクチャーを受けました。文字は大きく、画像を使う、聴衆に興味を持ってもらうなど基本的なことを教わりました。英語でも日本語でもプレゼンのコツはそう変わりませんが、わかっているけどできないことが多いです。メンバーの1人が誕生日だったため、ランチ後にバディがケーキを用意してくれ、みんなで一緒にバースデーソングを歌ってお祝いしました。英語で歌った後に、教えてもらったマレー語と中国語バージョンでも歌いました。そういえば日本語版のバースデーソングってないですね。

午後には、Cendolという、かき氷にココナッツミルクと黒糖ソースがかかり、パンダンリーフで着色された寒天のようなものが入ったデザートを食べに連れて行ってもらいました。甘めではあったものの、疲れている体に染み渡る美味しさでした。それに加えて、バナナとポテトを揚げたカロリーの爆弾のようなお菓子も食べたので、夕食を前にしてお腹いっぱいになってしまいました。



## 2/20 Data Collection & Team Assignment Preparation

この日は終日プレゼンテーションの準備をしました。8時45分にゲストハウスを出発し、図書館に行ってひたすらグループでプレゼンの作成を進めました。お昼は気分転換のためか学外の屋台に出かけて昼食を取りました。私は野菜不足を感じていたため、白米にお肉1種類と野菜2種類を盛り合わせて6リングットのビュッフェ形式のご飯を選択しました。

午後も、17時までずっとプレゼンの準備でした。英語でリサーチすることに慣れず、疲れをより感じました。

夕方には、中華系の料理がたくさんある、学外のナイトマーケットに行きました。餃子とポテトボール、アイスクャンディ、点心などいろいろと食べ歩くことができました。UTMはアルコールや豚肉などイスラム教で禁忌とされるものの持ち込みが禁止されているため、豚肉は学外の中華系のお店行かないと食べるできません。ある中国系のバディは毎食ごとに車で外に食べに行っているようです。バディの中にはマレー系でムスリムの学生も何人かいるため、研修中に豚肉やアルコールを扱っている中華系のお店にみんなで行くことは難しいとのこと。微妙に妥協しあいながら、多文化が共存していることを実感しました。さらに、インド系の屋台でチーズナンとロティティシュを食べました。ロティティシュは、タワー状になっていて、とてもインパクトのある見た目でした。このあたりで既に満腹だったが、さらに夜遅くまでオープンしている繁華街に行き、タピオカを楽しみました。日本の物価と比較すれば安いはずなのに、ご飯代の2倍くらいするタピオカがとても高価に思えました。日本に帰ったら全てが高くて感じてしまいそうです。

明日は研修で最も早い7時45分集合なのにこんなに夜更かししてもいいのでしょうか…。眠い目を擦りながら洗濯を終わらせて寝床に入り、1日を終わりました。





## 2/21 Historical City of Malacca

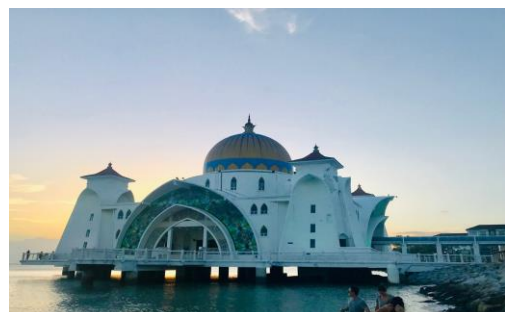
バスで3時間、12時前にマラッカに着きました。この日は朝ご飯を食べる暇もないくらい早い時間の集合だったのですが、バスの道中、いくみさんが男気ジャンケンで買ってくれたパンがみんなに配られました笑

まず向かったのはマラッカタワー、23RM払うと上空10mからマラッカを一望できるとのこと。23RMは高い…(なお日本円で600円程度なのですが、23RMもあれば三食二日間分くらいにはなるのです笑)と渋っていると、バディが交渉してくれて18RM、13RMと下がったので乗ることに！バディすごい！上空から見たマラッカは、モダンな建物と趣深い地区の混在し、大きな川と海が綺麗なまちでした。

続いてショッピングモールで各自お昼ご飯を食べた後、まちを散策しました。サンチャゴ砦→セントポール教会→オランダ広場の順で回ったのですが、階段が多く、バス移動ばかりで運動不足気味だったのか登り下りに苦労しました。サンチャゴ砦やセントポール教会は、とても古くて、マレーシアらしさがなく、異邦の遺物だなと実感しました。オランダ広場もすごく綺麗でした。

まちの散策を終えた後は、中心街から離れ、バディが美味しいというココナッツシェイク屋さんに！ココナッツの風味がしっかりと感じられ、甘さもちょうどよく本当に美味しかったです。最後に、マラッカ海峡モスクに行く…前に、モスクが一番綺麗に見えるというサンセットの時間まで時間を潰すためにビーチに行きました！各自思い思いに過ごしていたのですが、砂で富士山を作った子がいて、バディがその山に彼女の名前を付けていました。マラッカ海峡モスクは水上にあり、夕日とのコントラストがなんともいえぬ美しさでした。

Scholars' Innに帰ると11時近い時間…明日の集合は遅めだろう、と思っていたら7時15分…全然ねれないじゃん！



## 2/22 Preparation for Group Presentation

今日の最初のアクティビティーはUTMで一番高いHillに散歩に行くことでした。集合時間が朝の7時15分ととても早く、前日はマラッカツアーで夜遅くに帰ってきたこともあり、みんな早速少し疲れているようでした。バスでHillの麓まで向かい、そのあと20分ほど頂上を目指して登りました。朝早かったこともあり、あまり気温は高くなく、またキャンパスの豊かな自然のおかげで直射日光も浴びることなく、比較的登りやすい気候でした。キャンパス内では、他にもジョギングをしている現地の学生を何人か見ました。UTMは自然が本当に豊かなキャンパスなので、朝にジョギングするのは気持ちがいいと思います。

頂上からはキャンパスや都市を見渡すことができました。特にキャンパスの中央に位置するモスクはとてもきれいで荘厳でした。

少し頂上で休憩したあと、みんなで写真を撮りました。ジャンプする写真を撮るのは世界共通です。

その後、歩いて下まで下ったあと、近くのカフェテリアでランチを取るようになりました。下まで下るのは登るより楽だったのですが、下ってからカフェテリアまでは日差しも強く、体力を消耗しました。

カフェテリアは今までキャンパス内で訪れたものの中で一番大きく充実していました。私は少しお腹が痛かったのですが、みんな種類豊富カフェテリアで、おいしそうなお飯を食べていました。カフェテリアの一角にMy Newsというコンビニがあり、中は日本のコンビニと非常に似ており、とてもきれいで商品の品ぞろえも豊富でした。日本語の商品も数多く置いてありました。

ランチのあと、Scholar's Innに12時頃に帰り、3時までfree timeが与えられました。私は疲れていたもので、寝てしまいました。

3時から明日のプレゼンテーションの発表の準備をグループごとに行いました。

夜ごはんはみんなで外に食べに行きました。私たちは夕ご飯をシェアしたので、Nashi Goreng USA, Nashi Goreng ATAM black pepper, Mee Hong Kong,などを頼みました。とてもおいしかったです。



## 2/23 Team Presentation and Closing Ceremony/Farewell Dinner

今日は朝からプレゼンテーション発表がありました。どのチームもとても良い発表をしており、準備・練習ともに頑張ってきた様子が伺えました。各グループの発表内容は以下の通りです。

グループ1:Community Composting @Layang-Layang

グループ2:Green Campus Case Study

グループ3:Green City Development in Developed Country

グループ4:Sustainable Consumption and Production

グループ5:Low Carbon Society

グループ6:Aquaponic System

私のグループはGreen Campusを担当し、最終的に3位に入賞したのでうれしかったです。調査や資料作りの際にバディたちが多くのアドバイスをくれ、みんなで一つの発表を作り上げたことも良い経験となったと思います。

プレゼンテーション発表のあとは、ご飯を食べてClosing Ceremonyを行いました。UTM関係者のスピーチを聞き、一人一人プログラムの修了証書をいただきました。

Closing Ceremonyの後、一旦寮に帰り、その後バディたちにタピオカやデザートで有名なお店に連れて行ってもらいました。おいしかったです。

6時半からはFarewell Party でした。私たちは急きょ出し物として「マルマルモリモリ」の歌に合わせてダンスを披露しました。盛り上がったので良かったです。

UTMの学生たちも様々な出し物を用意してくれ、歌やダンスで盛り上がりました。

また一橋の学生とUTMの学生間でのギフト交換はとても楽しかったです。今日が最後のバディもおおり、マレーシアに到着してから本当に時がたつのが早かったように感じました。UTMのバディはみんな本当によく企画してくれ、面倒を見てもらい、感謝のきもちでいっぱいです。たった2週間でしたが、みんなと楽しい時間を過ごすことができたことは大切な思い出になると思います。





## 2/24 Free and Easy

マレーシアで過ごす最後の日でした。まずは、観光地巡りです。大きな王冠らしきオブジェやモスクを見に行きました。その後、Johor Bahruで有名なバナナケーキ屋に向かいました。バナナケーキとても美味しい！安いふわふわ！おすすめです。明日の朝ごはん用に10個買いました。

そこで、現地のお土産屋に行く人とショッピングモールに行く人に分かれ、私はショッピングモールに行きました。約3年ぶりにプリクラを撮りました。久しぶりに撮ると良い思い出になりますね。このショッピングモールで、マレーシアで2度目のカヤトーストを食べました。カヤトーストファンになったので、この後シンガポールでも数回カヤトーストを食べました。もちろんカヤジャムもお土産に買いました。(ちなみに日本に帰国後も、カルディでカヤジャムを買いました。)

現地のお土産屋に行った人たちも楽しんだようです。彼ら曰く、そこには伝統的な楽器が沢山置いてあり、自由に弾いたり鳴らしたりすることができます。皆それぞれ思い思いのお土産を買って喜んでいました。マレーシア最終日だったからか、大量に買っていました。マレーシアリングドを使うのも最後です。





# Singapore Diary



## 2/25 Arrival to Singapore

バナナケーキを食べて1日が始まりました。やっぱり美味しいです。さて、とうとうマレーシアを出発してシンガポールに行きます。長らく滞在していたScholar's Innともうお別れです。最初はここでの生活に慣れるか心配でしたが、一階で食べるroti canaiは美味しかったし、少し寂しい気もします。Scholar's Innには、2週間の思い出がいっぱいつまっています！

バスに乗って、シンガポールに入国しました。私たちが泊まるホステルに到着すると、ここまで来てくれたバディと本当にお別れです。2週間、ありがとうございました！ホステルでは、3~6人部屋に1週間宿泊します。さらに皆との仲が深まりそうですね。

夕方からは、各自自由行動でした。同時に、シンガポールドルに両替したりSIMカードを買ったりと、着々と準備を進めます。私は、シンガポールの観光スポットであるMarina Bay Sands付近をぶらぶらしました。夜景がとにかくきれいでした。本当に、きれいです。マレーシアとはまた違った雰囲気、これからの1週間が楽しみになっていきました。



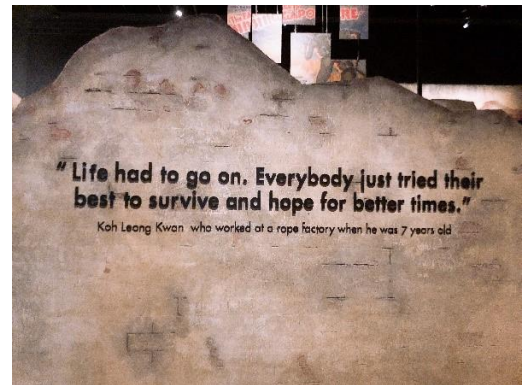


## 2/26 Preparation for FW/Visit:/Media Japan

シンガポール2日目、午前中はシンガポールで行うフィールドワークの内容や質問について、SMU近くのスターバックスで班ごとに打ち合わせをしました。コロナの影響で学校訪問がなくなってしまったため、日本で考えたトピックを変えなければいけない班もあり、皆真剣に話し合いをしました。またコロナの影響で場所が大学内から変更になったものの、SMUの現地学生と留学中の日本人学生が1人ずつ来てくれて、班ごとにアドバイスをもらうこともできました。

午後はMedia Japanを訪問しました。Media Japanはフリーペーパーの会社で、シンガポールの日本語無料ビジネス情報誌「AsiaX」や日本の食文化を伝える無料情報誌「OISHII」を発行しています。社長の内藤剛志さんがとてもユーモアがあって、紆余曲折があってシンガポールでビジネスを始めたこと、地方自治体と組んで日本食のPRイベントをしたことなどたくさん話をして下さいました。質疑応答もとても活発で、学生からの10個程の質問に全て丁寧に答えて下さいました。

その後は自由時間でした。私はシンガポール国立博物館を訪問した後、湾岸エリアの夜景を見に行きました。シンガポール国立博物館では第二次世界大戦の日本の占領が詳細に展示されており、そのことについて私自身の理解が薄かったことを思い知り、現地で知ることが出来て本当に良かったと思いました。夜湾岸エリアではマリーナベイサンズとマーライオンとビル群を一望でき、とてもきれいでした。





## 2/27 Visit :ABC Cooking Studio/Singapore City Gallery

この日の午前中は、ABC Cooking Studioを訪問しました。ABC Cooking Studioは日本発祥の料理教室で立川にもあるほか、便利なショッピングモール内の出店が多く、ガラス張りのおしゃれな雰囲気でも人気を博しています。私たちの班はフィールドワークのテーマが食文化だったので、自炊する人が少ないシンガポールで料理教室に通うのはどんな人なのか・どんなコースが人気なのか・実際に習った後自宅で自炊をするようになるのかなどについて知ることができ、とても楽しく有意義な時間となりました。シンガポールの人は、料理教室で作るのを楽しんでも家では料理しない人が多いというのは驚きでした。また海外出店やシンガポールの働き方など、質疑応答の時間も含めて多岐にわたるトピックについてお話頂きました。

お昼からは自由時間でした。私たちの班はシンガポールで有名なラオパサというホーカーセンターで昼食をとりました。ここは2014年にリニューアルされ、屋台60店・座席数2500席というシンガポールで最大のホーカーセンターで、私たちが訪問した時もビジネスマンでとてもにぎわっていました。様々な種類の料理がありどの料理も安いので、選ぶときにとても迷いましたが、実際に食べてみてもやはりおいしくとても満足しました。

その後私はシンガポールの暑さにやられてしまい、観光にはいかず部屋に帰って休息をとりました。この日は観光があまりできなかったのが残念ですが、まだシンガポールの時間はたくさんあるので急ぐ必要はなさそうです。



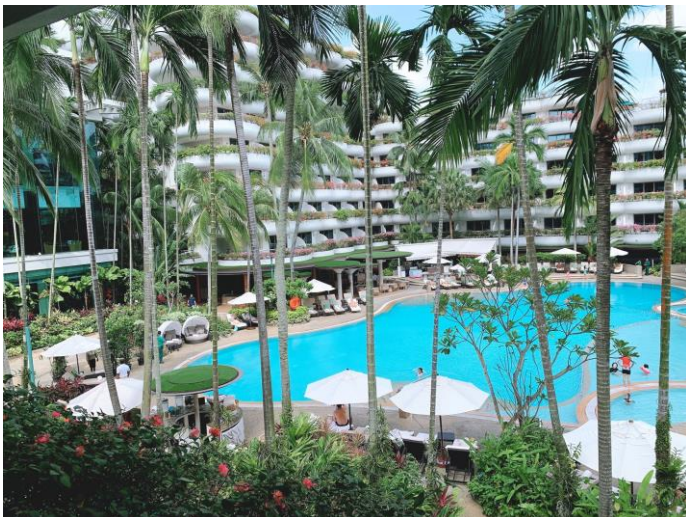


## 2/28 Visit: Shangri-la Hotel

この日は、高級ホテルで名高いシャングリ・ラ・ホテルを訪問しました。シャングリ・ラ ホテルは三つの「ウイング」から成り立っています。ビジネスマンが利用しやすい「タワーウイング」、バカンスでの利用が多い「ガーデンウイング」、VIP御用達の「バレーウイング」とそれぞれ異なる雰囲気を持っているため、宿泊目的に沿って様々なお客様の要望に応えられるようになっています。

私たちは、三つの「ウイング」全てを見学しました。とりわけ、「バレーウイング」は、米朝首脳会談の際、トランプ大統領が滞在したところとして、有名です。通常では入れない場所のため、みんな興奮気味に、写真をたくさん撮っていました。

見学終了後は、「バレーウイング」のデラックススイートで、実際に働いている現地の方と日本人の方からお話を伺いました。世界の要人を相手にするホテルの仕事は、常に新しいことへの挑戦であり大変楽しくやりがいがあると仰っていました。お二人とも、自分のホテルを持つことが夢とのこと。大きな目標に向かって前向きに仕事をされている姿を見て、素敵だなと思いました。





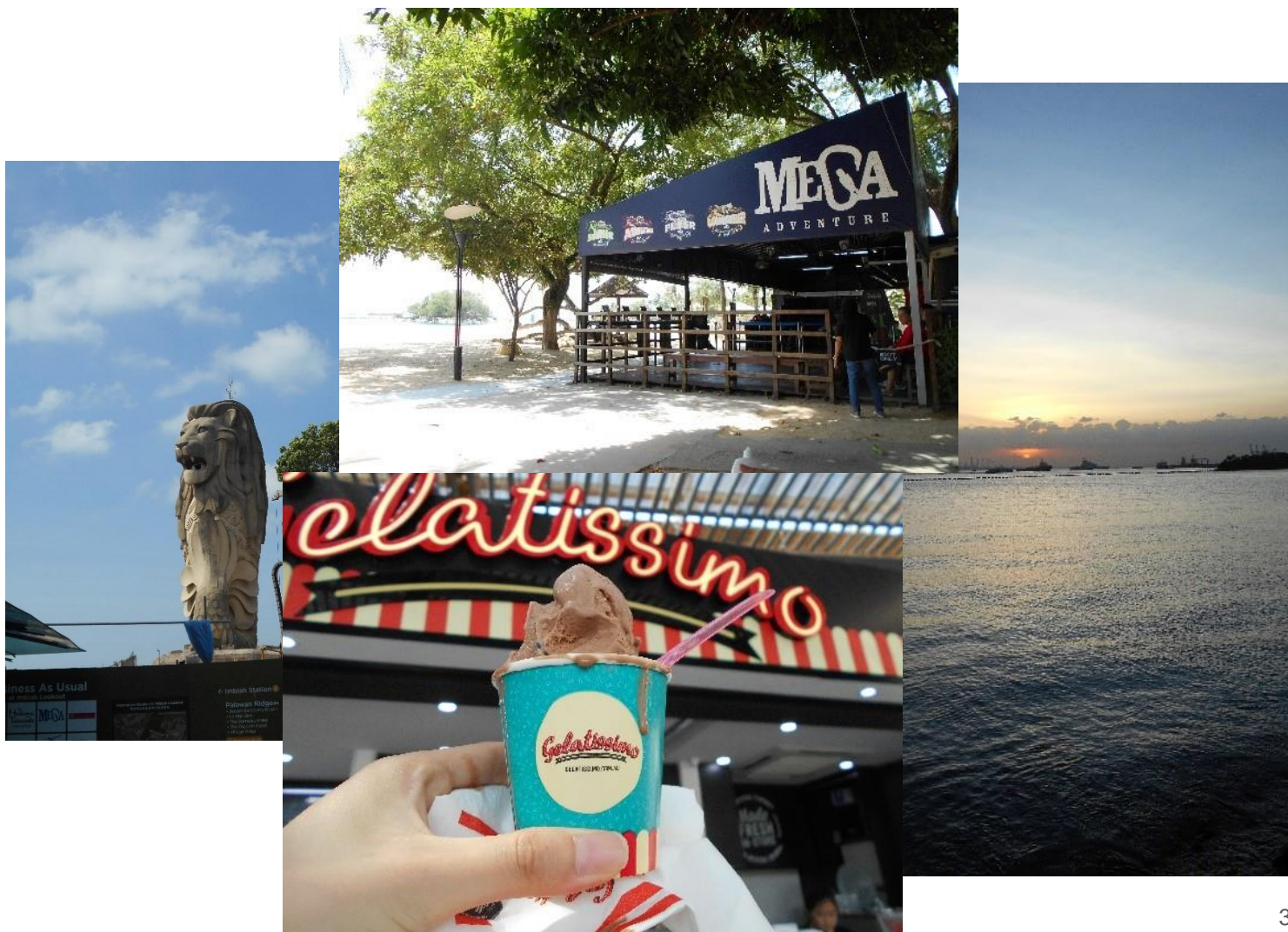
## 2/29 Free & Easy

シンガポールに来て初めてのFree&Easy Day。研修メンバーは貴重な休日を思い思いに楽しんでいたようです。筆者を含む数名は、足を延ばしてセントーサ島へ向かいました。電車とバスを利用すると hostel からセントーサ島まで1時間近くかかってしまいますが、Grabを使うと20分程度で行くことができるので、おすすめです。今回は6人乗ることができる車を手配したので、1人3シンガポールドル程度で行くことができました。

セントーサ島には様々なアクティビティがあり、1日ではとても回り切れません。悩んだ末に、筆者たちはUSSに行くのをやめてMEGA ZIPというアトラクションを体験することにしました。MEGA ZIPは海や木々の上をジップラインで駆け抜けるアトラクションで、大自然に放り出されたような気分になることができます。事実、体験したメンバーは口を揃えて「また体験したい」と叫んでいました。セントーサ島にはマダム・タッソー蝋人形館や水族館などの屋内施設も充実しているので、暑さが心配な方でも安心して楽しむことができます。

セントーサ島でのもう1つのおすすめは、パラワンビーチにある吊り橋を渡った先にある、アジア大陸最南端のパラワン島です。特に、パラワン島の展望台からのサンセットは絶景そのものでした。ビーチからの眺めと違って砂が一切見えないので、貴重な景色を楽しむことができました。

セントーサ島は朝から夜まで楽しめる最高の島でした。次のシンガポール訪問時もまた訪れたいです。





### 3/1 Free & Easy

この日は一日Free & Easyだったので、セントーサ島にあるUniversal Studio Singapore (USS)に行きました。シンガポールを訪れたら絶対に行きたいと思っていた場所の一つだったので、行く前からとても楽しみでした。しかし、研修での疲れのせいか、私自身はその日眠気を抑えられず、さらに暑さも相まって体調は最悪でした。

私は絶叫系が好きでも嫌いでもないのですが、ジェットコースターに乗ること自体は苦ではないのですが、その日は上述したように体調が最悪で、その上合計3回もジェットコースターに乗ったので、死ぬかと思いました(笑)。また、休憩で入ったカフェで、眠さのあまり一人爆睡してしまい、間抜けな寝顔を一緒に行った6人にさらすという失態を犯してしまいましたが、逆にそこまで安心して接することのできる人たちに出会えたポジティブに考えれば、それも今となってはいい思い出になったと思っています。(笑)

そんな中でも一番楽しかったアトラクションはRevenge of the Mummyという、古代エジプトを舞台にしたアトラクションで、日本のUSJでいうスパイダーマンのように、車のようなものに乗って横や縦に揺れたり、スクリーンにビルから落ちる映像が映し出されてスリルを感じられたりするので、私はUSJのスパイダーマンのアトラクションが大好きなのもあり、とても楽しむことができました。

また、USSのこのアトラクションは、世界各地のUniversal StudioにあるMummyシリーズの中で一番楽しいと評判らしく、その期待通りの楽しさでした。

USSで1日楽しんだ後、帰りにLittle Indiaでカレーを食べました。駅を降りた瞬間雰囲気がガラッと変わり、本当にインドに来たような気持ちになりました。(インドに行ったことはないですが)インド系の方達は外で話すのが好きなのか、多くの人が所狭しと地べたに座り込んで話している光景は日本ではもちろんシンガポールの他の場所でもなかなか見られないものだったので、とても新鮮でした。

シンガポールでも特に観光地として人気のあるセントーサ島と、少しローカルな雰囲気の漂うLittle Indiaという、全く違うシンガポールの姿を1日に見ることができ、大変貴重な1日になったと思います！



## 3/2 Singapore City Gallery

午前中は、最寄り駅のKallang駅を越えたあたりにあるコインランドリーへ洗濯をしに行きました。洗濯機の操作方法が分からず、私は規定料金の3倍の値段を支払う羽目になってしまいました…。洗濯の待ち時間には、フィールドワークのプレゼン用のスライドを作成しました。シンガポールでの研修は、自由時間が多い分、各々がタイムマネジメントを行い、課題に取り組む必要があったからです。

お昼に滞在先のArkHostelを出発し、MTRのTanjong Pagar駅直結のフードコートに行きました。ちょうどビジネスマンのランチタイムと重なり、どの店にも行列ができていました。日本食、中華、イタリアンなど様々な選択肢がありましたが、マレーシア料理が懐かしくなり、Nasi LemakとTehを注文しました。Tehの甘ったるい味がお気に入りです。

午後は、研修生全員でSingapore City Galleryに訪問し、シンガポールの都市計画・開発の歴史についての展示を見学しました。壁掛けの展示に留まらず、巨大なジオラマや映像技術を駆使した展示が行われており、楽しみながら学ぶことができました。シンガポールでは、土地や資源の厳しい制約の中で、住みよい街を作るために、様々な工夫がなされていることを学びました。また、Colin LauwさんとのQ&Aセッションでは、シンガポールの街づくりには大阪や東京から学んだ部分もあるという、嬉しいお話を伺いました。ただ、日本の都市こそ、有効な資源活用や持続可能なインフラの整備といった点で、シンガポールから学ぶべきことがたくさんあると感じました。

夜は、チャイニーズタウンで中華料理を食べました。中華料理は、世界のどこで食べても美味しい、最強の料理だと再認識しました。勢いよく食べたせいで、少し胃もたれしましたが、正露丸のおかげで翌朝には回復しました。コロナウイルス感染拡大の影響か、商店街はシャッターを下ろしているお店も多く、閑散とした様子だったのが残念でした。再びチャイニーズタウンに活気が戻ることを祈っています。



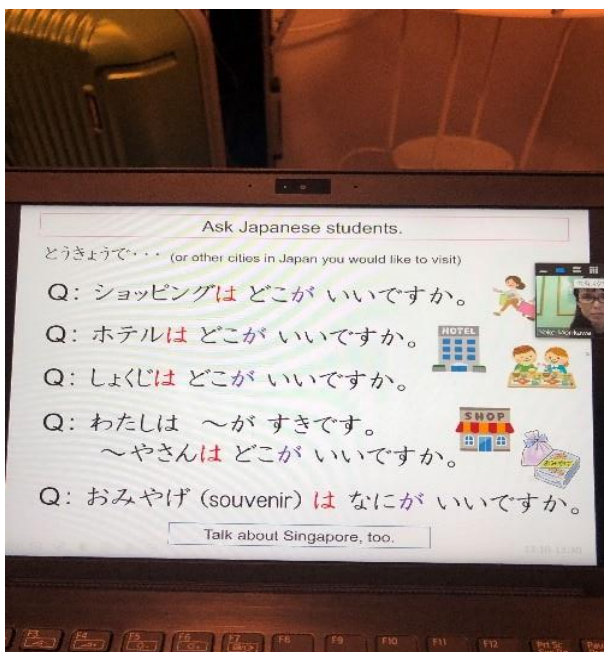


### 3/3 Introductory Japanese Class at SMU

午前中はオンラインでSMU日本語クラスの授業に参加させてもらいました。今回の研修では新型コロナウイルスの件でSMUでの授業が中止となり残念ではありましたが、オンラインとは言え現地の学生と一緒に授業を受け、交流できたのはとてもいい経験となりました。授業では日本語で身の回りの事を表す練習をしましたが、男子のグループではある日本人生徒が可愛いという話で持ち切りだったらしく、男の考えることはどこでも同じだと感じるとともに、映像授業の難しさも垣間見えました。

午後は明日のプレゼンの準備をカフェですることになり、今まで降りたことのなかったBugisを訪れました。Kallangから二駅の距離にあるBugisは、大きなモールや高層ビルが立ち並ぶ都会という印象でした。カフェで一通りの確認を終えて近くのアラブ人街を散策し、大通りから一本入ると雰囲気のがらりと変わり、あたかも中東の町を訪れたかのような錯覚に陥りました(中東に行ったことはないですが)。Haji LaneやArab Street沿いにはお洒落な店が軒を連ね、夜が更けると路上ライブが始まり、人々がオープンバーで音楽と酒に酔いしれていました。辺りを散歩するだけでも楽しいので、是非夜に訪れることをお勧めしたいです。

ホステルに戻った後は日課のランニングをすることにしました。前日もマーライオンまで走ったものの距離が4kmと意外に短く(ホステルに諸々の不満を持つ一同も、こと立地に関しては満足していました)、ルートを変えホステル南のスタジアムを通って向かうことにしました。しかしこれが悲劇の始まりでした。走り始めて30分でSingapore Flyerに向かう橋に辿り着きましたが、橋に上がる階段が見つからないのです。携帯も財布も持っていない私は途方に暮れましたが、取り敢えず階段を探しに真っ暗の森の中を歩き、木々をかき分け、深い排水溝を飛び越え、高速に侵入しましたが、そこに歩道はありません。車道の端を走って渡ろうかとも考えましたが、流石に逮捕されたらまずいと踏みとどまりました。道中は看板一つなく、また高速の反対側に行く橋やトンネルも見つかりません。1時間半さまよい続け、7人に道を尋ね、なんとか宿舎に戻った時には、あれだけ魅了されたシンガポールにうんざりしている自分がいました。



### 3/4 FW Presentation

この日はついに、シンガポールでのフィールドワークの集大成ともいえるプレゼンテーションでした。私のグループでは、プレゼンテーションの練習とパワーポイントの修正をするために、朝の九時にカフェに行き、準備をしました。英語でのプレゼンテーションにはあまり慣れてなかったこともあり、何度も練習して改善を図りました。

午前中にみっちり練習した後はグループメンバーと共にシンガポールでの最後の昼食を食べました。やはり、最後はシンガポールらしいものを食べたいということもあり、チキンライスを食べました。このシンガポール滞在中に4, 5回は食べたであろうチキンライスを食べるのも最後と思うと少し感慨深かったです。

昼食後は、ついにSMUの図書館の施設を借りて、プレゼンテーションを各グループ行いました。シンガポールの芸術、シンガポールの寿司文化、シンガポールの都市開発、シンガポールと日本の学生のキャリア意識の差異といった異なる四つのテーマについてプレゼンテーションが行われました。各グループがインタビューやアンケート調査などで得た情報をもとに作られたプレゼンテーションはとても独自性のある面白いものであったと感じました。さらに、Q&AセッションではSMU学生からの貴重なコメントも頂くことが出来たので、各々のテーマについてより深い理解を得られたと思います。

こうして、ようやくシンガポール最後の夜。SMU学生と一緒にモールでご飯を食べた後、私は友人と共に Clarke Quayに行き、研修中の思い出を語りながら、きれいな景色を肴にお酒をたしなみしました。ここまで約三週間、毎日のように顔を合わせていた友人たちともあと一日でしばらくお別れということもあり、とてもエモーショナルな気分になりました。そして、翌日 Hostel をチェックアウトし、沢山の思い出を胸に無事帰途に着きました。





# Member Introduction

参加者とバディ2～3一橋生とバディによる参加者・バディの他己紹介です！

参加者=1年生3名、2年生8名、3年生1名、4年生5名の計17名(男:女=5:12)(商:経:法:社=7:2:2:6)

バディ=UTM(Universiti Teknologi Malaysia /マレーシア工科大学)のChemical Engineeringを専攻する学生。  
(男女7名の計14名)

マレーシアでは参加者とバディ2～3名ずつ、計5～6名でグループを組み、日々の行動を共にし、最後には協力してプレゼンテーションも行いました。



Chikako, O. (商1)

元気で好奇心旺盛な一年生！一年生ながら、導入ゼミで学んだことをフィールドワークで活かそうとするしっかり者。芯が強く、上級生にも物怖じせずに自分の意見を主張するところがすごく好きでした。しかし、シンガポールでのフィールドワークを通じて、知らない人に声をかけるのは苦手ということが発覚、ちゃんと苦手なこともあるということに筆者は安心しました。笑



Reina, E. (商1)

今回の研修では数少ない1年生ながら、テキパキとした仕事ぶりを披露してくれた江崎さん。プレゼンでも堂々とした発表で3位という結果に貢献してくれました。本当にありがとう！持ち前の行動力と向上心の強さで、今後も更に活躍していく事間違いなしです！



Yudai, U. (経1)

Yudai is the friend who's great with people. He knows how to organize things well. He's focused and likes to get things done! You can trust him to be honest and sincere. Hope to meet him again.



Kazuya, S. (商2)

Kazuya is a cheerful and easy going person. He is very friendly and easy to approach. He also is very hardworking and does a lot in the group assignments by providing a lot of information and data for the presentation. I'm very glad to meet and get to know him. Hope to meet him again at Malaysia or even at Japan.



Sakura, S. (商2)

自由で毒舌な面も持つがとても優しい。ロティloversの1人で、1日2食それで済ませることも。滞在中は日本食を食べないことを宣言するもシンガポールのFWで泣く泣く寿司を口にする事になってしまった。ミロが好き？



Junya, I. (経2)

研修の参加者の中でも随一のムードメーカーで、持ち前の明るさで、いつもみんなを笑わせてくれました。伊藤くんの面白さはマレーシアでも共通らしい。他方、グループワーク等では真剣に取り組んでくれるバランスの良さ、素晴らしい！！笑



Ayana, S. (法2)

Ayana is a shy but cheerful person. She can communicate well in English and she participated a lot in doing the assignments by providing great ideas. Happy to meet her and have her in the same group. Hope to meet her again.



Keita, S. (社2)

Keita is a person who always smiles to every people he met. He is so cute and I always feel comfortable with him and I really love to talk to him. He has a good sense of humor that can simply make everyone laugh with a small action. I can still remember vividly during the presentation, and he grabbed the audience's attention by his interesting presentation skill. I hope I can always keep in touch with him. Thank you Keita.



Kana, K. (社2)

マイペースだけどいつも冷静、的確な助言でみんなをサポート。そんな先輩も美味しいものを前にすると一直線の食いしん坊でみんなにも笑顔と幸せをお裾分け。たまに「草っ。」と斬られる。



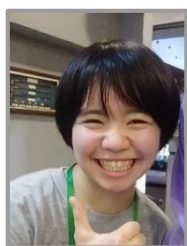
Haruka, S. (社2)

Haruka is a great leader! Despite being quiet most of the time, she is very friendly and easy to communicate. She was also very serious in preparing assignments and presentation. Moreover, she is skilled in playing kendama and I love how she taught others to play with patience. It was really nice to know her, and I hope we could meet again.



Naoko, I. (社2)

研修中に誕生日を迎えたバースデーガール、なおこちゃん。現地ではフルーツジュースをへびロテしていた彼女。寮の冷蔵庫にもフルーツをストックするほどのフルーツ愛が見受けられた。フルーツのみならず、現地の食べ物・人・歴史・施設など様々なものにアンテナを張り巡らせ、多くのことを吸収しようという積極さがとても素敵だった。



Ayano, T. (法3)

Ayano is a person who is strong-willed, brave and adorable at the same time. I feel really comfortable to be around her because of her friendliness and calm vibe. she cutely says the word 'sorry' even though she does not make a mistake. She had been the one who actively tried to make the slide template looked nicer for our presentation. I often use her gift of pen to write my journal but I feel happier simply being able to meet the wonderful person.



Kaoru, A. (商4)

日本人グループのお姉様の存在。5月までミネソタ大学に留学していて、UTMのバディとの送別会でいきなりプログラムの感想を求められてもスラスラとスピーチができるくらい英語が堪能。同室の1年生にもとても優しい。



Eimi, S. (商4)

Although I do not have further communication with her, I can know that she is quite serious in completing the assignment and presentation which has strong responsibility. I hope she enjoyed the summer school and utilizes the knowledge learnt from this program.



Ami, T. (商4)

しっかりしていて頼りがいがあるけど、優しくてたまに天然なところもあるかわいいお姉さん。ムードメーカーでありながら、班長としてプレゼン準備の際も私たちをまとめ、さらにレベルの高すぎるスライドまで作って頂き頭が上がりませんでした。将来はきっとバリキャリアウーマン！！笑



Risa, N. (社4)

Risa is a polite and amiable person. She is good at saying "thank you", "please", etc. She is also friendly and nice which we can talk to her easily. At the same time, she always thinks about other people when she does something or talks to someone. I am glad to be the same group with Risa and all the other members. I really enjoy the time where we all be together.





Ikumi, K. (経4)

通称カメさん、いくみん。男気じゃんけんで誰よりも男気を発揮した、漢のなかの漢。しかし、犬やネコに目がなく、愛犬家でもある。また、プレゼンのパワポ作成が上手く、パワポ職人でもあるし、バディの無茶振りにも応えられるダンサーでもある。色々な一面を持ついくみんに、みんな目が離せなかった。

# Buddy Introduction

マレーシアでの2週間、つきっきりで私たちを楽しませてくれた、優しくて個性豊かなバディー達をご紹介。



Shakirah

話すたびに「落ち着いた人だな」と思わせる人。割と落ち着いたタイプと言われる僕からしても落ち着きある人だなと思える人物でした。その上プレゼンでは完璧なOPを作っていて、プレゼンで大したスライドも作れなかった僕とは違う何かを持っていることにただただ尊敬しかできなかったです。この研修で出会えて本当にによかったです！



Jeslyn

Without saying, is a bright and cheerful girl, and always helps us when we have difficulties. Definitely she is a reliable friend and her wonderful smile makes us feel better. She is not only a kind girl, but also good at Japanese. I was surprised that she already knew some greeting words, like “ohayo” or “oyasumi”. Because we taught some phrases Japanese teenagers usually use, she became great user of Japanese!



Nazihah

It didn't take long to get close to Nazihah as she likes to talk with anybody, and is a good listener at the same time. We always found a cute and sweet smile in her face. Any of us fell in love with her!



Izzati

初めは少しシャイだったが、海を挟んでシンガポールが見える場所で “You can swim to Singapore” などとジョークを言い出す、おちゃめな女の子。目が合うといつもにっこりしてくれて、とてもかわいい。また、車の運転が上手で、事あるごとに私たちを乗せて運転してくれた。Nazihahとよくじゃれ合っている。別れ際は笑顔とたくさんの投げキッスで送り出してくれた。



Ying Shan

She is a dedicated and motivated person and she is always willing to assist any team members. However, she is shy at the first met up but we ended up in cheerful relation with those crazy and funny group photos. Glad to be with her in a team.



Jun Yan

I would describe Jun Yan as a cohesive team member because during completing the task, Jun Yan gave us a lot of guidance even though he was rarely with us. He is also a friendly when he can make a great bonding with the team members only in a twinkling of an eye. At the end of the day, I am really glad to have Jun Yan as my team member and really enjoy time I spend with all the team members.



Teoh

Teoh is so reliable person that he always helped do our presentation. However, he has a different dimension; he is very good at dancing and singing. He performed very nice dance in the farewell party. That appearance is so cool but cute!



Mei Lian

She is a kind and hardworking girl. She always puts her heart and soul in whatever she's doing. Moreover, she loves to help her friends and everyone likes to befriend with her.



Zul

Zul has a really bright and friendly personality, and always cared us a lot during the whole program. His pronunciation of Japanese was completely perfect, which made the atmosphere between us much more enjoyable. I believe we all were helped a lot by his just being with us.



Dora

シャイで真面目な女の子。自分は写真係だからといって、自分が撮られるよりも、私たちのことを写真に収めてくれた。その一方で、やるときはやるという一面も。プレゼンのコンクルージョンは、ビシッと決めてくれた。最終日の前日に誕生日を迎えたので、フェアウェルディナーで盛大にお祝いされていた。お別れした後には、『パプリカ』を聞いて私たちのこと恋しがってくれていたらしい。



Seow

カメラでよく写真を撮ってくれたり、グループで出かける際に車を運転して色々なところに連れて行ってくれたりととても優しく頼れるSeow。マレーシアからシンガポールに向かう時も最後まで私たちに付き添ってくれ、グループラインでもこれから楽しんでね！と言ってくれるなど、いつも私たちを気遣ってくれました。





Jialee

He looked like a shy person but he is very humorous. He will always catch up the vibes and bring happiness to us. All of us are feeling comfortable when staying with him. He is extremely friendly and helpful. He always lends his hand when anyone of us needs help.



Xinyi

She looks like a cool person but actually she is a kind and dedicated person. She always helps us all of the time without any hesitation. She guided us whenever we faced any problem.



Ryan

ライアンは日本に留学していたことがあるそうで、日本語がとっても上手です。LINEのやり取りもネイティブさながらだとか…！また、プレゼンやフェアウェルパーティーでは、ライアンがpcを操作して、スライドを再生したり音楽を掛けたりと、いつもみんなを支えてくれる縁の下の力持ちのような存在でした。

# Closing Words

- 研修の報告書を編集しながら、この研修中いかに毎日充実していたかを思い出すことができました。また、新型コロナウイルスの影響でシンガポールどころか新宿に行くのが躊躇われる今、2ヶ月前に海外に行けたのがとても貴重な経験だったのだということをひしひしと実感しています。研修メンバー、バディ、先生、また機会に恵まれてこの研修を終えることができ、深く感謝しております。本当にありがとうございました！（Naoko）
- 僕自身、この研修が海外二回目でもとても刺激的な体験ができました。多くの宗教や人種の人たちが共に生活するマレーシアやシンガポールに身を置くことで自分のインサイトを広げ、また深めることが出来ました。さらにシンガポールのグループワークを通じて、自分自身のキャリア意識や将来設計について深く考える機会が得られ、とても有意義に過ごすことが出来ました。本プログラムに関わる全ての方へ、この場を借りて深くお礼申し上げます。（Kazuya）
- マレーシアとシンガポールでの学びの多い素敵な日々の記録をこうして形に残すお手伝いが出来たこと、すごく嬉しく思います。東南アジアの生活状況や文化、環境問題ばかりでなく、自分の将来のキャリアなどについても考える良い機会となり、とても充実した3週間でした。この報告書を見てくださった方々が参加を決断してくだされば、と願っています！（Ayana）
- 持続可能な発展や多文化共生、キャリアなど様々なテーマに触れ、視野がぐんと広がった3週間でした。そして、バディを含め現地の方々と関わる機会もたくさんあり、積極的にコミュニケーションをとる姿勢も身につけられたのではないかなと思います。新型コロナウイルスの影響が広がるなかで、無事にプログラムを終えることができたのは、先生方やバディ、旅行会社の方々のご尽力があつてのことだと思います。本当にありがとうございました！（Haruka）